

四

四

春



春

澤

澤

水

水

満

満

王羲之(三〇七〜三六五)の蘭亭序、
集字聖教序の倣書で書いています。
王羲之は書聖といわれた人物です。
用筆、字形ともにすぐれており、
筆使いは自在で伸びやか。
字形も変化に富んで豊やかな表情
である。

しゅんすいたく
春水四澤に満つ

春の水は四方の沢に満ちている。

(陶淵明作)